

九州地区舞台芸術運営協同組合15周年記念事業

Kyushu Stage Arts Cooperative —KYUSAC—

なみきスクエア舞台芸術養成事業



吉井澄雄氏

日本照明家協会名誉会長

舞台照明界の巨匠が福岡にやってくる!

吉井先生に直接お会い出来ます!

「あかりや照明家人生」—劇団四季から世界へ—

出版記念講演 4/18 木曜日 懇談会 4/19 金曜日

KYUSAC きゅうさく が面白そうだ! 九州の劇場関係者はこの貴重な機会をぜひお見逃しなく!

講演会：2019年4月18日木曜日

□会場：なみきスクエアなみきホール（千早駅西側）
<https://www.namiki-sq.jp/higashishimin/>

□開場：13時～

なみきホールのバックステージツアーを約40分開催します。
興味のある方は13時に集合してご参加ください。

□講演会：14時～

吉井氏の照明デザイン助手としていくつかの作品に関わった松本 shoko（当組合員）がパネリストとして現場での面白いエピソードや苦労話などを吉井先生から聞き出してゆきます。また全体の司会進行は井上忠（SLI）が務めます。

□終了時間：17時予定

□参加費：

A 一般 1,500円（学生は無料）

B 講演会+著書/「照明家人生」・込 4,000円

事前に予約された方には吉井氏のサイン入りの本を用意いたします。

懇談会：2019年4月19日金曜日

□集合場所：柳川 若松屋（うなぎ料理）

<http://wakamatuya.com>

□集合時間：11時20分 ※時間厳守

うなぎが好物の吉井氏を柳川にお招きして昼食会をします。

昼食後、御花（元柳川藩主立花家邸宅）の対月庵へ

<http://www.ohana.co.jp/restaurant/taigetsukan.html>

徒歩で移動して、日本庭園の見えるレストランにて懇談会を行います。

※サイン会や、記念撮影もいたします。

□終了時間：15時予定

□参加費：**C** 18日の講演会参加費+著書/「照明家人生」
+うなぎ昼食代+お茶代・込 1万円



早川書房

「照明家（あかりや）人生」

劇団四季から世界へ

2018年11月出版

定価 2,700円 税込 2,916円

吉井澄雄 よしい すみお

舞台照明家 劇場コンサルタント

1933年東京生まれ。

1953年劇団四季の創立に参加。日生劇場の建設に参画。

科学技術振興財団（現テレビ東京）演出部長。

文化庁在外芸術研修員として西ドイツ、英国へ、

日本のオペラ劇場はいかにあるべきかを模索。

演劇、オペラ、ミュージカル、舞踊と幅広い分野で照明デザインの第一人者として活躍するとともに、

新国立劇場他多くの劇場の建設にかかわり、劇場技術全般を主導。公益社団法人日本照明家協会名誉会長。

手がけた照明デザイン作品は1500作品にも及び 劇団四季の作品はもとより、蜷川幸雄演出の数々の作品、

三代目市川猿之助が始めたスーパー歌舞伎、森英恵のバリコレクション、井上陽水のコンサートなど多岐にわたり、

ここ九州では博多座はもちろんのことハウステンボスのグランドオープニングにも関わる。



パネリスト
松本 shoko 直美
照明家 当組合員



1954年横浜生まれ 高校3年生の時に美術教師に連れられ、

吉井氏が手がけたワグナーのオペラ作品 二期会の「ワルキューレ」を上野文化会館にて観る。

その後奇しくも照明の道に進み、SLSにて文学座の杉村春子や民芸の滝沢修作品の専属フォロースポッターとして3年間修行する。その後劇団黒テント 68/71に参加し、演出家佐藤信氏に師事。1988年文化庁在外研修員として英国に渡り、そのまま海外で仕事を続け、昨年6月、31年ぶりに帰国。現在は福岡を拠点に、これまでの経験を生かしたいと九州地区舞台芸術運営協同組合に参加。吉井氏の照明デザイン助手として吉井氏照明技術設計の青山スパイラルホール照明技術主任、オープニング公演山口小夜子主演「ルル」、文化村オーチャードホール柿落し公演オペラ「魔笛」、蜷川幸雄演出の英国ロンドンのウエストエンドロングラン公演「タンゴ冬の終わりに」になどの作品に関わった。